

山行報告書

日時	2016年 12月23日(金)～25日(日)		天候	曇り・曇り・晴れ
山名	八ヶ岳・赤岳			
CL	吉永	参加者	大久保、岡崎、川崎	
(コース)	<p><1日目> 標高差720m 6:32博多駅 ～ 9:52=10:00名古屋駅 ～ 11:53=11:58塩尻駅 ～ 12:45茅野駅 ～ タクシー ～ 14:00美濃戸口 ～ 17:00赤岳鉱泉</p> <p><2日目> 標高差689m 7:15赤岳鉱泉 ～ 8:20行者小屋 ～ 文三郎尾根 ～ 10:15赤岳 ～ 文三郎尾根 ～ 12:30行者小屋 ～ 13:15赤岳鉱泉</p> <p><3日目> 標高差720m 7:50赤岳鉱泉 ～ 10:40美濃戸口 ～ タクシー ～ 屋敷・お風呂 ～ 13:14茅野駅 ～ 13:35=14:03塩尻駅 ～ 16:01=16:14名古屋 ～ 19:39博多駅</p>			
(コメント)	<p>12月中旬、福岡の単身赴任が解けてやっとう東京に帰った川崎さんが子供さんにとって楽しみのクリスマスの日登山に行ってしまった。私達には力強い助っ人であり赤岳鉱泉の方とも親しく食堂やトイレも適切なアドバイスを貰い快適な山小屋生活だった。登山が終わる小屋の食堂で日本酒やワインで乾杯、4人ベッドの部屋でも乾杯、窓の外は大同心の岩がそびえ、スイスの山小屋の様だった、川崎さんとは来年も赤岳鉱泉でお酒とワインと日本酒のグラスを両手で持ち名残を惜しんだ。さて山であるが赤岳はこんなに急な登山であったかと年輩した体には応え、幸い風は殆どなかったが、雲が山肌からはなれず景色は期待できなかったため小屋の魅力には逆らえず縦走は断念した、もっと体を鍛えなくてはと反省した八ヶ岳だった。 吉永</p> <p>一昨年から北八ヶ岳に参加させてもらっていましたが、今回は八ヶ岳の赤岳に登りたいと思っていました。今回会長が赤岳の計画を立てていただいたので参加しました。歩き始めにアイスバーンで転び、ご迷惑を掛けましたが、何とか赤岳に登ることができました。天狗岳とは違い、厳しさも感じました。頂上は視界が今一でしたが、ヤッター！という気持ちで一杯でした。赤岳鉱泉の小屋の素敵な個室に驚き、それに加えて豪華な食事にもびっくりしました。美味しい食事にお酒も進みよく飲みました。山で飲むお酒は格別美味しかったです。楽しい3日間でした。来年は縦走ができれば良いと思っています。参加されたみなさんお世話になりました。また、よろしく願います。 大久保</p> <p>皆様、福岡では大変お世話になりました。今回は現地、茅野で待ち合わせして、雪の赤岳アタックを会長、大久保さん、岡崎さんしました。街では雪とは程遠く、本当に雪があるのか心配でしたが、ガチの雪山でした。赤岳鉱泉では三連休もあり、150名以上が宿泊し、有名なガイドも複数見かけるなど、テンションMAXでした。登山自体は風も弱く、氷点下10度と暖かく、皆、堅実なトレースを雪面に残し、無事に山頂まで到達しましたが、流石にそこは赤岳、硫黄岳まで縦走する体力はありませんでした。しかし、福岡で出逢った仲間と現地待ち合わせで一緒に登山というのは、本当に楽しかったです。皆様に頂いたご恩は常に胸の奥にあります。またどうか皆様にお逢いし、切磋琢磨できることを夢見て、日々頑張ります。本当に有難うございました。 川崎</p> <p>初めての雪山。期待と不安で少し緊張気味。1日目の夕食時はお酒を控えて明日に備える。行者小屋から赤岳までは一と登りでふくらはぎがパンパン。赤岳頂上では雲がかかって視界が悪く残念ではありましたが登れただけで大満足でした。ピビリながらの下山は長く感じましたが無事に下山出来て一安心。2日目の夕食のメニューはステーキでテンションが上がり、昨日の分を取り返すぞ！とばかりにお酒が進みました(笑)。飲んで笑ってまた飲んでのとても楽しい山行でした。リーダーはじめみなさんのお蔭で赤岳に登る事が出来て感謝しています。ありがとうございます。 岡崎</p>			
費用概算	<p>(交通費/人) 約37千円 (宿泊費/人) 個室4人ベッド2泊 22千円</p>			



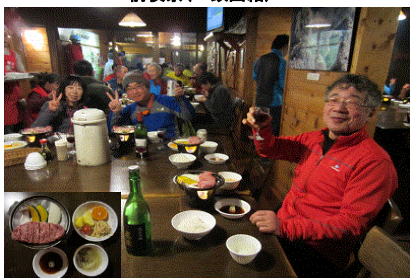
前夜祭(一致団結)



赤岳



反省会(ワインと日本酒で乾杯)



2日目夕食(何回目の乾杯?)



赤岳鉱泉の前で



アイスクャンディーの前で